

日本語学習者コーパスに見られるテンス・アスペクトの習得： ベトナム語母語話者による誤用と母語の影響

ファム ティ タイン タオ

Acquisition of Tense & Aspect Observed in a Japanese Learner Corpus: Errors Made by Native Speakers of Vietnamese and L1 Influence

Phạm Thị Thanh Thảo

Abstract

This paper uses the IJAS corpus to examine acquisition of tense/aspect and conjunctions by Vietnamese intermediate learners of Japanese and possible L1 influence. The “picnic” story writing task was analyzed from four perspectives: 1. Comparing the aspectual form *te-iru* and conjunctions appearing in compound sentences produced by native speakers and learners; 2. Examining whether active or passive forms are used to express “unfortunate results”, and which sentence-final expressions are used; 3. Comparing the “picnic” story writing task with new story writing data for the same story told in Vietnamese and a consideration of possible L1 influence; 4. Examining whether similar tense/aspect errors remain even past the advanced level, using new Japanese story writing data on the same topic.

Findings are listed below:

1. Learners underuse the continuous *te-iru* form and conjunctions in compound sentences compared to native speakers.
2. 86% of native speakers use the passive, compared to only 44% of learners. Similarly, 70% of native speakers use *te-iru* to describe temporary situations compared to 4% of learners, who overwhelmingly use the *ta* form instead.
3. Vietnamese speakers typically use the form “*đang* + V” corresponding to *te-iru*, but sometimes use bare verbs, showing that *đang* is not obligatory. Learners may therefore use the *ru* form as well as the *te-iru* form in Japanese. The past perfect forms “*đã* + V” and “*đã* + V + *rồi*” were used for temporary situations. This may cause learners to use *ta* correspondingly in Japanese.
4. The most proficient learners could use *te-iru* with conjunctions, and use the natively like forms *aida ni*, *saichu ni* and *tokoro*, rather than *toki ni*. All learners also used the passive to express unfortunate situations. However, none used *te-iru* to describe temporary situations. This use of *te-iru* appears to be difficult even for the most proficient learners.



目次

1. はじめに

2. 先行研究

3. 調査方法

3.1 調査対象

3.2 調査データ

4. 調査分析

4.1 I-JAS に見られるテンス・アスペクトの習得と、
日本語母語話者との比較

4.1.1 進行相「テイ（ル）」と接続表現

4.1.2 中国語・英語母語話者との比較

4.1.3 「能動態・受動態」と持続相「テイ（ル）」

4.2 母語の影響の可能性についての考察

4.2.1 ベトナム語におけるアスペクト体系

4.2.2 ベトナム語母語の影響の可能性

4.3 ベトナム語母語話者日本語超上級学習者による
語りのアスペクトの使用状況の考察

5. まとめと今後の課題

1. はじめに

「テイ（ル）」形は日本語のアスペクト研究の中心的研究対象であり、これまで数多くの研究がなされてきているが、日本語学習者を対象とする日本語教育の観点に基づいた習得研究には不十分な点が多いと庵（2017）が指摘している。外国人留学生の作文におけるテンス・アスペクトの使用状況を分析した山口（2013）や、上級学習者の産出物である修士論文におけるアスペクトを含む文法問題の誤用を取り上げた高梨他（2017）などでは、「テイ（ル）」の習得は、上級・超級レベルの日本語学習者にとっても容易ではないことを示している。また、「テイ（ル）」の習得に関わる要因として、動詞の語彙的アスペクトや、「テイ（ル）」のもつプロトタイプ性、母語の影響などが挙げられている（Shirai 1995、Shirai & Kurono 1998、小山 2014、許 2005、陳 2014）。しかしながら、これまで「テイ（ル）」の習得については、主に単文レベルの用法に注目した、研究が行われてきた。峰（2015）、峰（2019）は、テンス・アスペクト形式の誤用の多くは複文・文脈処理を必要とする形式であると述べている。本論文では、ベトナム語母語話者による「テイ（ル）」形の習得研究に焦点をあてる。

本論文の目的は、第一に、ベトナム語母語話者による中級日本語学習者コーパス I-JAS におけるテンス・アスペクト及び接続表現の習得状況を観察すること、

第二に、その習得が、学習者の母語であるベトナム語の影響を受けている可能性について検証するため、ベトナム語との対照から分析することにある。分析対象の産出データは、I-JAS の「ストーリーライティング」タスクにおける「ピクニック」というトピックのデータを対象にし、以下の四つの視点から比較分析を行う。

第一の視点は、複文におけるアスペクト形式「テイ（ル）」と、その複文中に使われる接続表現の使用状況について、日本語母語話者とベトナム語母語話者の産出を比較するという視点である。第二の視点は、残念な結果に対する語りとして、「能動態・受動態」のどちらが用いられるのか、文末表現として結果残存を表す持続相「テイ（ル）」が用いられるのかという視点である。さらに、第三の視点として、同じ「ピクニック」という漫画をみて、ベトナム語母語話者にベトナム語でストーリーライティングしてもらった筆者独自のデータと比較し、母語の影響の可能性を検証する。さらに、第四の視点では上級・超級学習者においても、同様のテンス・アスペクトの誤用が産出されるのかについて、同じ「ピクニック」という漫画をみて、日本語でストーリーライティングした独自のデータに基づき考察する。

この論文では、データの分析から明らかになった(1)～(4)について、以下のように述べる。

- (1) 複文における進行相「テイ (ル)」と、その複文中に使われる接続表現においては、ベトナム語母語話者は日本語母語話者と異なる使用傾向を示した。「テイ (ル)」の過少使用及び接続辞の欠如が観察された。
- (2) 残念な結果に対する語りとして、日本語母語話者のおよそ86%が「受動態」を使用しているのに対し、ベトナム語母語話者は44%のみである。また、臨時的状況描写を表現する文末表現には、日本語母語話者の70%は「テイ (ル)」を使用しているのに対し、ベトナム語母語話者は「タ」形の使用が圧倒的に多く、「テイ (ル)」の使用率は1割未満4%である。
- (3) ベトナム語でストーリーライティングしてもらった独自のデータによるベトナム語母語の影響の可能性を考察した結果、進行相「テイ (ル)」形と相当する“đang + V”という形式を使う傾向が観察されるが、Vのみを使う用例もあるため、đang「テイ (ル)」は義務的な標識ではない。したがって、ベトナム語母語話者は「テイ (ル)」以外、「ル」形の使用例が多く見られるのではないかと考えられる。さらに、語りにおける状況描写の場合、文末表現には過去完了を表す“đã + V”および“đã + V + rồi”で表される「完了 + V + パーフェクト」という形式が用いられるため、学習者は、母語のベトナム語の影響を受けて、「対応する日本語として、「タ」形と対応する」と誤った認識となり、誤用されているのではないと思われる。
- (4) 超上級学習者によるテンス・アスペクトの習得では、全員が＜進行相「テイ (ル)」＋接続表現＞が使えることが観察できる。また、接続表現には「～とき」が見られず、その代わりに、日本語母語話者のように「～間に」「～最中に」「～ところ」が用いられている。さらに、残念

な結果を表す語りとして、全員が「能動態」を使わず「受動態」を選んでいるが、文末表現においては、臨時的状況描写の「テイ (ル)」を一人も使用していない。言い換えれば、この「テイ (ル)」の用法は超上級学習者においてもまだハードルが高いのである。

2. 先行研究

Shirai (1995)、Shirai & Kurono (1998)の実験1では、3名の初級中国語母語日本語学習者を対象に、「テイ (ル)」形と語彙的アスペクトの関係を考察し、日本語学習者は日本語母語話者より「テイ (ル)」と活用動詞を結び付けやすいことを指摘している。その後、小山 (2004)と陳 (2014)は、調査対象者を増やすと共に調査対象者の日本語レベルを考慮しながら、次のような実験を行っている。

小山 (2004)は中国語話者、韓国語話者、その他の母語話者の留学生23名を対象に、動詞とアスペクトマーカー(「テイ (ル)」)の結びつきについて調査した。その結果、学習者の母語と日本語レベルに関係なく、活動動詞よりも到達動詞のほうが「テイ (ル)」を付与しにくいと述べている。また、特に、中国語母語話者の場合、母語の影響で「テイ (ル)」の習得が困難であると示している。詳しく言うと、「結果残存」は「進行」に比べ、中国語話者にとって習得が困難であり、「タ」形と誤用されているということである。

陳 (2014)は、動詞の語彙的意味特徴の違いが学習者の「テイ (ル)」習得に如何なる影響を与えるのかを台湾人日本語学習者の作文コーパスを通して検討した。その結果、Shirai (1995)、Shirai & Kurono (1998)、小山 (2004)のように、学習者の日本語レベルに関係なく、各動詞タイプの中で、「活動動詞」が「テイ (ル)」と結びつきやすいものであることを明らかにした。

「テイ (ル)」の誤用を観察した研究には、山口 (2013)、高梨他 (2017)があり、上級学習者であって

も「テイ (ル)」の使用に誤用が観察されることが指摘されている。山口 (2013) は、初級レベルの日本語学習者 50 名の作文 235 点を分析した結果、学習者が使用する全てのテンス・アスペクト形式「ル、タ、テイル、テイタ」(正用・誤用を含む) のうち、「ル、タ」のみで 9 割以上を占め、「テイル、テイタ」の使用が少なく、「テイル、テイタ」とすべきだったところに「ル、タ」が使われてしまっていると述べている。高梨他 (2017) は、超級を目指す上級学習者の産出の例として人文学系の 3 名の修士論文の草稿を取り上げ、アスペクトに関わる「テイル」の誤用を 20 例提示し、そのうち、脱落が 4 例、余剰が 9 例、誤選択が 5 例であると指摘している。また、完了した事柄の影響力が現在にも及んでいることを表す場合に、中国語母語話者は「テイ (ル)」を使わず「タ」を選ぶことが多いと述べている。

複文レベルの「テイ (ル)」の習得研究は、峯 (2015)、峯 (2019)、望月他 (2020) がある。峯 (2015) は「処理可能性理論」(Processability Theory, Pienemann 1998) を援用し、「文脈の時間の流れ」を表す「テイ (ル)」の使用には高次レベルの情報処理が求められると述べている。また、峯 (2019) は、複文・文脈処理が必要な文脈「テイ (ル)」の習得は超上級になっても誤用が見られ、文脈「テイ (ル)」は複文処理を必要とする「ト、バ、タラ、ナラ、ノニ、テモ等」の接続辞と同じ発達段階で使用可能であることを示唆している。望月他 (2020) は、I-JAS を用いた日本語・中国語・英語・ベトナム語母語話者によるテンス・アスペクトの習得について、論考している。複文における進行相「テイ (ル)」と接続表現、「能動態・受動態」と結果

残存を表す持続相「テイ (ル)」の習得にはまだ誤用が見られ、中国語・英語・ベトナム語母語話者が、日本語母語話者と異なる使用実態であることを示した。

3. 調査方法

3.1 調査対象

I-JAS は、国立国語研究所の HP で一般公開された 12 言語の母語話者のデータを収集する大規模な日本語学習者横断コーパスである。日本語学習者の総数が 1,000 名、日本語母語話者が 50 名、計 1,050 名の日本語産出データが収録されている。そのうち、ベトナム語母語話者 50 名のデータが収録され、データ検索が可能である。

本稿では、I-JAS におけるベトナム語母語話者 50 名と日本語母語話者 50 名、計 100 名を調査対象とする。ベトナム語母語話者は他の母語話者と同様に、日本語能力テスト (J-CAT 及び SPOT) を受け、中級レベル相当の日本語学習者と見なされている。迫田 (2019) はテスト得点についてそれぞれの一要因分散分析を行った結果、有意な差が見られないことから、各グループが等質である (J-CAT ($F(11,168)=1.72, p=.074$), SPOT ($F(11,168)=1.48, p=.145$)) と述べている。迫田 (2019:155) が作成した母語別の日本語能力テストの平均点表を再掲する。

表 1 母語別グループの 15 名の日本語能力テストの平均点

	尼	英	韓	西	泰	中
J-CAT	209	210	211	189	211	211
SPOT	67	69	72	64	68	70
	独	土	洪	仏	越	露
J-CAT	210	210	210	189	213	211
SPOT	70	69	69	66	65	70

3.2 調査データ

本稿では、I-JAS のストーリーライティング1 (以下、SW1 と呼ぶ) における右にあげる「ピクニック」という5コマの漫画を分析対象にする。SW1では、マリ、ケンと犬が、登場人物である。学習者がこの漫画を見て、ストーリーを作るというタスクである。この課題の目的は、対話ではあまり観察できない文法項目(受身や自他動詞、複合動詞、接続表現など)の使用状況を観察する。絵と問題の指示文を学習者に渡し、それに続けて、ストーリーを書いてもらう。

漫画①から②への展開の語りにおいて、進行相「テイ(ル)」及び接続表現と、残念な結果に対する語りとして漫画⑤の「受動態・能動態」及び文末表現としての持続相「テイ(ル)」の使用に着目して、ベトナム語母語話者と日本語母語話者のデータを比較する。また、ベトナム語母語の影響の可能性を検討するために、日本語を理解するかどうかを問わずベトナム語母語話者10名にストーリーライティングしてもらった筆者独自のデータを収集する。さらに、日本語が上達するにつれて、同様のテンス・アスペクトの誤用が産出されるのかを論じるために、ベトナム語母語話者上級・超級学習者5名に日本語でライティングしてもらった独自のデータも分析対象とする。

4. 調査分析

4.1 I-JAS に見られるテンス・アスペクトの習得と、日本語母語話者との比較

4.1.1 進行相「テイ(ル)」と接続表現

まず、漫画①から②への展開の語りにおいて、進行相「テイ(ル)」とその複文中に使われる接続表現を見てみよう。漫画①②は、①の「ケンとマリがピクニックに行くために、サンドイッチを作っている」という出来事と、②の「ケンとマリが地図を見ている間に、犬がピクニックバスケットに入り込んだ。」という二つの出来事を描写している。この二つの出来事を関係

ピクニック (picnic)

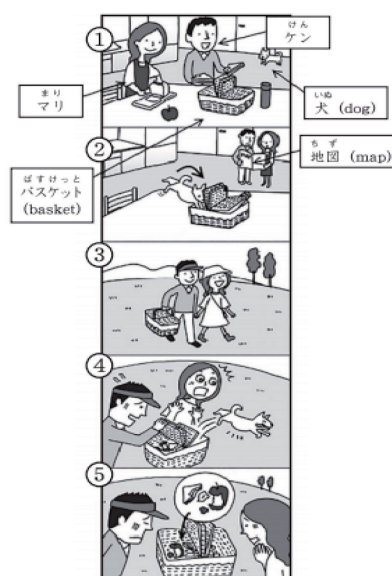


図3 「ピクニック」のイラスト

づける文法形式として、進行相「テイ(ル)」形と接続辞の二点に焦点をあてて考察する。日本語母語話者と比較すると、以下の表2のような対比が見られる。

表2 漫画①から②への展開に見られる日本語・ベトナム語母語話者による「テイ(ル)」の使用状況

母語話者	テイ(ル)形		
	複文	二文	合計
日本語 (N=50)	68% 34例	20% 10例	88% 44例
ベトナム語 (N=50)	42% 21例	6% 3例	48% 24例

表2から読み取れることは、以下の二点である。

- a. 両者のどちらでも進行相「テイ(ル)」の使用率が最も高いが、日本語母語話者の88%は進行相「テイ(ル)」を使用するのに対し、ベトナム語母語話者は42%にとどまっている。ただし、複文における使用率は、両者ともに二文における使用率より高いのである。すなわち、「～ている間に、～た」という複文構文の習得がある程度定着していると言えるだろう。

- (1) マリとケンが地図を見ている間に、犬はバスケットの中に入ってしまった。(JJJ11-SW1-00010-K)¹
- (2) 二人が今日の地図を眺めているすきに、ポチはバスケットに忍び込みます。(JJJ08-SW1-00030-K)
- (3) 2人は地図を見ているうちに犬がサンドイッチのあるかごに入りました。(VVN10-SW1-00010-K)
- (4) 地図を見ている時、犬はバスケットに入れました。(VVN28-SW1-00030-K)
- b. 両者のどちらでも複文中の「テイ (ル)」の使用率が二文における「テイ (ル)」より高かったが、二文における「テイ (ル)」の使用率から見ると、日本語母語話者は88%のうちに20%、いわゆる 1/3 が二文の形で漫画①と②の出来事を結びつけている。その一方、ベトナム語母語話者は42%のうちに6%、いわゆる 1/7 が二文の形式を使っている。
- (5) ケンとマリが地図を見てこれから行く場所を相談しています。(JJJ10-SW1-00020-K)
そのすきに犬はバスケットの中に入りこみました。(JJJ10-SW1-00030-K)
- (6) ケンさんとマリさんはピクニックバスケットをつくっていました。(VVN27-SW1-00010-K)
そのまま、ある子犬がバスケットの中に入ってしまった。(VVN27-SW1-00020-K)

上記の分析から分かったのは、漫画①と②のような進行中の出来事を描写する際に、日本語母語話者が「テイ(ル)」という文法形式を選択するということである。一方で、ベトナム語母語話者はこの進行相「テイ (ル)」について、低い使用率を見せた。そこで、「テイ (ル)」以外、どのような文法形式を使っているかということ

を見るために、以下の表3のように、データをまとめる。

表3 漫画①と②に見られる「テイ (ル)」以外の文法形式

母語話者	ル形			タ形		
	複文	二文	合計	複文	二文	合計
日本語 (N=50)	0% 0 例	2% 1 例	2% 1 例	0% 0 例	4% 2 例	4% 2 例
ベトナム語 (N=50)	20% 10 例	4% 2 例	24% 12 例	4% 2 例	14% 7 例	18% 9 例

表3 から読み取れることは、以下の二点ある。

- c. 複文においては、日本語母語話者の「テイ (ル)」以外、「ル」形や「タ」形の使用例はゼロである。しかし、ベトナム語母語話者には「ル」形の使用 (20%) が顕著である。また、「タ」形の用例 (4%) も見られる。
- (7) それから、二人が地図を見る時、思わずに犬がバスケットに入ってしまった。(VVN01-SW1-00020-K)
- (8) 二人は地図を見た時、犬はバスケットに入ってしまった。(VVN09-SW1-00030-K)

ここで、なぜ「ル」形が過剰使用されるかという疑問が生じるが、その要因として、やはり母語の影響を受けた可能性があると思われる。(7) を (7') のようにベトナム語の文に直してみた。

(7')	Sau đó,	khi	hai	người	(đang)
	それから	～時	2	人	(PRO)
	xem	bản đồ	thì	con	chó
	見る	地図	CONJN	CLF	犬
	đã	nhảy	vào	cái	giỏ.
	ANT	飛ぶ	入る	CLF	バスケット

(7') の訳文から見ると、進行相「テイ (ル)」と対応する “đang” は省略可能であり、アスペクトマーカをつけずに動詞のみを使うことができる。した

がって、ベトナム語母語の影響で、漫画①から②への展開のような出来事を描写する場合には、「ル」形が頻繁に使われているのではないかと考えられる。

- d. 二文においては、「ル」形と「タ形」の使用例は両者にも見られるが、顕著なのはベトナム語母語話者の「タ」形の用例数である。

＜「ル」形の用例＞

- (9) 二人は地図を見て公園の位置を確かめます。(JJJ49-SW1-00050-K)
すると、そのすきに愛犬のジョンがバスケットの中にするっと入ってしまいました。(JJJ49-SW1-00060-K)
- (10) それから、ケンとマリは地図を見て、遊ぶところを相談して決めます。(VVN31-SW1-00020-K)
その時、ワンちゃんはバスケットの中に入ります。(VVN31-SW1-00030-K)

＜「タ」形の用例＞

- (11) ケンとマリは一段落し、やがて目的地を決めるべく地図を見始めました。(JJJ26-SW1-00040-K)
余程楽しかったのでしょうか。(JJJ26-SW1-00050-K)
- (12) 二人は地図を見ました。(VVN26-SW1-00020-K)
その時飼っている犬はバスケットに入りました。(VVN26-SW1-00030-K)

二文で表現する場合にも、日本語母語話者のうち、20%は「テイ（ル）」を用いているのに対し、ベトナム語母語話者は、17%が「タ」形を多用している。「タ」形の過剰使用の要因を示すために、(12)をベトナム語に訳して対応表現を見てみよう。

(12') Hai người (đã) xem bản đồ.
2 人 (ANT) 見る 地図
Trong lúc đó, chú chó mà họ
そのとき CLF 犬 REL 彼ら
nuôi đã nhảy vào trong giỏ.
買う ANT 飛ぶ 入る 中 バスケット

(12') の訳文では、過去に起きた出来事を描写するとき、過去完了マーカー đã が用いられている。ベトナム語では文脈によって、その出来事がいつ起きているのかが推測できるため、この場合、đã というアスペクトの標識が省略可能である。したがって、ベトナム語母語話者は日本語母語話者のように進行中の「テイ（ル）」形を用いず「タ」形を代用すると思われる。

次に、「テイ（ル）」を含む「出来事間の単純な時間の推移」と、「出来事間の原因－結果の関係」複文両方に着目しその複文中に使われる接続辞の使用状況について、日本語母語話者とベトナム語母語話者の産出を比較しよう。

表4 「テイ（ル）」を含む複文における接続辞の母語別使用状況

	接続辞	日本語母語話者		ベトナム語母語話者	
1	～間に	13	38%	1	5%
2	～隙に	9	26%	0	0%
3	～と	7	21%	0	0%
4	～ところ（に）	2	6%	1	5%
5	～うちに	1	3%	4	19%
6	～最中に	1	3%	1	5%
7	～たら	1	3%	0	0%
8	～時（に）	0	0%	14	67%
	合計	34	100%	21	100%

表4では、複文で使われる接続辞において日本語母語話者による使用頻度が高い順で並んでいる。表4から見てきたのは、日本語母語話者は「～間に」(38%)「～隙に」(26%)「～と」(21%)といった「テイ（ル）」

と共起する接続表現を豊富に用いるのに対し、ベトナム語母語話者は「～時に」(67%)、「～うちに」(19%)の使用が最も多いことである。日本語母語話者と比べて、ベトナム語母語話者には複文における接続表現の欠如が観察できた。なぜ「～時に」が最も多く使用されるのか、語彙力の不足か、または、母語の影響かというような要因が考えられる。日本語能力が上達するにつれて、このような誤用が少なくなるだろうというような問いが生まれてきた。

4.1.2 中国語・英語母語話者との比較

望月(2020)はベトナム語のみならず他の母語話者においても、漫画①と②に見られる進行相「テイ(ル)」の過少使用と、複文における接続表現の欠如という同じ現象が観察できたと述べている。

表5「テイ(ル)」形の使用状況 各母語話者50名(望月2020:144)

日本語母語話者	中国語母語話者	ベトナム語母語話者	英語母語話者
88%	52%	48%	22%

表5によると、漫画①②の語りにおける「テイ(ル)」が最も習得できていないのは英語母語話者(22%)である。中国母語話者とベトナム語母語話者はほぼ同じ使用率を見せた。したがって、日本語母語話者とはギャップがあるものの、中国母語話者とベトナム語母語話者は英語母語話者より複文における進行相「テイ(ル)」がある程度習得できていると考えられる。また、その複文における接続辞の使用状況は以下のように挙げられる。

表6 複文における接続辞の母語別使用状況(望月2020:144)

	接続辞	日本語母語話者	中国語母語話者	ベトナム語母語話者	英語母語話者
1	～間に	42% (21例)	2% (1例)	2% (1例)	10% (5例)
2	～隙に	28% (14例)	0% (0例)	0% (0例)	0% (0例)
3	～と	14% (7例)	0% (0例)	0% (0例)	0% (0例)
4	～とき	0% (0例)	42% (21例)	44% (22例)	18% (9例)
5	～ながら	0% (0例)	2% (1例)	2% (1例)	24% (12例)

表6を見ると、中国語母語話者はベトナム語母語話者と同様に、「～とき」を最も多く使用していることが観察される。また、英語母語話者の場合、最も多いのは「～ながら」(24%)、次に「～とき」(18%)である。それに、中国語・ベトナム語・英語母語話者の中で、英語母語話者は「～間に」の使用率が最も多く、日本語母語話者とは比べられないものの、中国語・ベトナム語母語話者より正用が多いのである。

4.1.3 「能動態・受動態」と持続相「テイ(ル)」

本節では、「ケンとマリがバスケットの中を見ると、サンドイッチが犬に食べられてしまっている」という出来事を表す漫画⑤からのデータを提示し、「能動態・受動態」と持続相「テイ(ル)」を分析する。まず、日本語母語話者とベトナム語母語話者の「能動態・受動態」の使用状況を見よう。残念な結果を表すために、「受動態」を好む日本語母語話者に対し、「能動態」を用いるベトナム語母語話者が多くいると予想される。データは次頁の表に表示する。

表7 漫画⑤における「能動態・受動態」の使用状況

順	受動態	母語話者	
		日本語 (N=50)	日本語 (N=50)
1	～られていた	34% (17 例)	0% (0 例)
2	～られてしまっていた	28% (14 例)	0% (0 例)
3	～られてしまった	16% (8 例)	20% (10 例)
4	～られた	2% (1 例)	20% (10 例)
5	～られる	0% (0 例)	2% (1 例)
6	～られた (状態だった)	6% (3 例)	2% (1 例)
合計		86%	44%
順	能動態	母語話者	
		日本語 (N=50)	日本語 (N=50)
1	～してしまっていた	6% (3 例)	0% (0 例)
2	～してしまった	6% (3 例)	28% (14 例)
3	～しかけた	0% (0 例)	2% (1 例)
4	～した	0% (0 例)	6% (3 例)
5	～する	0% (0 例)	2% (1 例)
合計		12%	38%

表7からは、漫画⑤のような語りでは、日本語母語話者 86% は受動態を用いていることがわかる。その一方、ベトナム語母語話者 (44%) は、受動態を選択しているが、能動態を用いている被験者も多く 38% である。これは能動態を好む言語であると言われていたベトナム語の特徴であろう。また、発話者がどのような対象に視点を置いて出来事を描写するのかは本人の伝えたい感情にもよるのではないと思われる。言い換えれば、「話し手」に視点を置いて受動態を用いる日本語母語話者のように一方向の結束性がないのである。

次に、両者によって文末表現における持続相「テイ (ル)」の使用状況を分析してみる。漫画⑤では「バスケットの中を見る」ことによって、「食べ物が食べられてしまっていた」という状態を発見するという「語り」になっている。その発見を語るにあたって「すでに完了している変化結果・残存」を描写しているということである。そのため、この漫画⑤における「テイ (ル)」は以下、臨時的状況描写表現「テイ (ル)」と称する。

表8 漫画⑤における状況描写「テイ (ル)」の使用状況

順	文末表現	母語話者	
		日本語 (N=50)	ベトナム語 (N=50)
1	～られていた	34% (17 例)	0% (0 例)
2	～られてしまっていた	28% (14 例)	0% (0 例)
3	～してしまっていた	6% (3 例)	0% (0 例)
4	なくなっていた	2% (1 例)	0% (0 例)
5	残っていた	0% (0 例)	2% (1 例)
6	残っていなかった	0% (0 例)	2% (1 例)
合計		70%	4%

表8では、「～られてしまっていた」または「～られていた」のような臨時的状況描写表現「テイ (ル)」を用いる日本語母語話者が 70% を占めるのに対し、ベトナム語母語話者はタ形の使用が圧倒的に多く、「テイ (ル)」の使用率は 4% のみである。この結果から、ベトナム語母語話者は臨時的状況描写の「テイ (ル)」の用法を十分に理解できず、習得が困難であると思われる。

4.2 母語の影響の可能性についての考察

4.2.1 ベトナム語におけるアスペクト体系

ベトナム語のアスペクト体系の概観について、野村・ファム (2019:431) から引用される。

「ベトナム語におけるアスペクト・時制という文法的カテゴリーの有無については頻繁に議論されている。現在、ベトナム語には時制は存在せず、アスペクトのみが存在するとする意見が多数である (Nguyễn Đức Dân 1996, Cao Xuân Hạo 1998, Trần Thị Kim Phượng 2008). Đinh Văn Đức (2012) のように、ベトナム語には時制とアスペクトが同時に存在するものの、時制に比べアスペクトが重視されているとするものもある。」

また、代表的な Cao Xuân Hạo の主張が次のように引用される。

“Tiếng Việt tuyệt nhiên không có thì... Khi cần định vị một sự tình trong thời quá khứ hay hiện tại, tiếng Việt dùng đến những khung đề có ý nghĩa từ vựng thích hợp như: xưa kia, trước đây, hiện nay, bây giờ”

(Cao Xuân Hạo 1998:10)

(英語訳: “Vietnamese has no tense at all... To locate a situation in the past or at the present, Vietnamese employs lexical adverbials such as: long ago, in the past, nowadays, at the present”.)

(英語訳は Trang Phan (2013) による)

Phan (2013) は Smith (1991) や Travis (2010) の研究を踏まえ、ベトナムのアスペクトシステムについて論じている。Phan (2013) は、ベトナム語には pre-verbal outer aspect (視点相, viewpoint aspect) と post-verbal inner aspect (状況相, situation aspect) という2つのアスペクトシステムが存在すると述べている。

Pre-verbal outer aspect は “đã” (anterior), “đang” (duration), “sẽ” (future) などの pre-verbal elements (動詞前副詞的要素) で表現される。

(a) Tôi đã ăn sáng rồi.

1S ANT eat moring already

“I have eaten breakfast.”

(Phan, 2013:49)

一方、Post-verbal inner aspect は “hết” (end), “xong” (finish), “ra” (out), “thấy” (see), “được” (can) などの post-verbal elements (動詞後副詞的要素) で表現される。

(b) Nó đã sửa xe xong.

3S ANT fix car finish

“He finished fixing the car.”

(Cao Xuân Hạo, 2000:11)

また、ベトナム語母語話者は発話する際、出来事の発生と終了に注意を払う傾向がある (Nguyễn Kim Thán 1977, Panfilov 1993, Nguyễn Minh Thuyết 1995)。言い換えると、その出来事が過去に起こったことか将来に生じることかというテンスの表現よりその出来事を “đã...rồi” 「もう～した／もう～している」か “vẫn chưa...” 「まだ～しない／まだ～していない」かというアスペクト的な表現に注目しているようである。従って、“đã...chưa?” 「もう～したか／もう～しているか」という疑問文がベトナム語母語話者の間でよく使用されている。具体的には、次の用例を見てみよう (野村・ファム (2019:432) 参照)。

(c) Người đó đã đến rồi.

人 あの ANT 来る PRF

「あの人はもう来た。／あの人はもう来ている。」

(d) Người đó vẫn chưa đến.

人 あの まだ NEG.PFV 来る

「あの人はまだ来っていない。／あの人はまだ来ない。」

4.2.2 ベトナム語母語の影響の可能性

I-JAS のデータによる分析結果から分かったように、漫画①②における進行相「テイ (ル)」と、漫画⑤における臨時的な状況描写「テイ (ル)」を用いていないベトナム語母語話者には母語からの影響があるのかということを検証するため、ベトナム語母語話者 10 名に「ピクニック」という同一の漫画を見せ、それに基づきストーリーライティングを行わせた。ベトナム語の作文では、日本語で書かれた作文のように、漫画①②と漫画⑤を描写する文のみを抽出し、グロスをつけ、母語の影響を検討する。

まず、漫画①②における進行相「テイ (ル)」を考察しよう。進行相の出来事を表現するため、ベトナム語母語話者は “đang + V” という形式を用いている。

- (13) Khi tôi đang ăn cơm
 ～時に 私 PROG 食べる ご飯
 thì bạn đến.
 CONJN (結果) 友だち 来る
 (私がご飯を食べているうちに、友だちが来た。)

漫画①②には (13) と同様の “đang + V” という形式を用いたベトナム語母語話者が 6 名いる。

- (14) Nhân lúc Ken và Mari đang
 ～うちに ケン と マリ PROG
 chuẩn bị hành lý cho chuyến đi,
 準備する 荷物 ため 旅
 chú chó đã nhảy vào
 CLF イヌ PRF 飛ぶ 入る
 giỏ thức ăn.
 バスケット 食べ物
 (ケンとマリがピクニックのための荷物を準備しているうちに、イヌは食べ物のバスケットに飛び込んだ。)

残りの 4 名は “đang + V” という形式を使わず V のみを使用している。用例を見よう。

- (15) Tuy nhiên, trong lúc hai người
 しかし ～うちに 2 人
 không để ý, chú chó đã
 NEG 気づく CLF イヌ ANT
 nhảy vào giỏ thức ăn.
 飛び込む バスケット 食べ物
 (しかし、二人が気づかないうちに、イヌは食べ物のバスケットに飛び込んだ。)

従って、上述したように、ベトナム語母語話者は進行中の出来事を表現する際、「テイ (ル)」と相当する “đang + V” という形式を使う傾向が見えてきたが、V のみを使う者もいるため、必ずしもこの形式を使うとは限らない。言い換えれば、義務的な標識ではないと再確認できた。そのため、漫画①②のような進行相「テイ (ル)」を用いる場合は、ベトナム語母語話者は「テイ (ル)」以外に、「ル」形を使用するケースが多いのではないかと考えられる。

また、複文における接続表現については、10 名中 5 名が trong khi, khi 「～時に」、4 名が trong lúc, nhân lúc 「～うちに」、1 名が sau khi 「～てから」を用いている。やはり漫画①②のような 2 つの出来事を関係付ける場合、ベトナム語母語話者は「～時に」または「～うちに」を頻繁に用いているのである。

次に、漫画⑤における臨時的な状況描写「テイ (ル)」を見よう。4.2.1 においても言及したように、ベトナム語のテンス・アスペクト表現のうち、最も代表的な用法は過去完了を表す đã と文末詞 rồi を用いるものである (レー 2001)。この 2 つのアスペクトマーカーから、“đã + V”, “V + rồi”, “đã + V + rồi” といった 3 つの形式が頻繁に使われる。羽賀 (2011) は辞書参照に

よって“*đã*”と“*rồi*”の意味用法を以下のようにまとめている。

表9 辞書による“*đã*”と“*rồi*”の意味用法

	<i>đã</i>	<i>rồi</i>	<i>đã ... rồi</i>
Nguyễn (1999)	1. 過去 2. (文末で) 先に	1. 完了 2. そして	記載なし
Bùi (2003)	1. 完了 2. (文末で) 満足、先に	1. 完了 2. そして	1. 完了

事前に起こった事柄を描写する漫画⑤を見ると、10名全員が*đã*を用いている。その中には8名は“*đã* + V”、2名は“*đã* + V + *rồi*”という形式を使っている。

(16) Họ nhìn vào trong giỏ
彼ら 見る 入る 中 バスケット
thì thấy tất cả đồ ăn
CONJN (結果) 見える すべて 食べ物
đã bị
ANT PASS
chú chó ăn mất rồi.
CLF イヌ 食べる ~てしまう PRF
(彼らがバスケットの中を見ると、食べ物が全部イヌに食べられてしまっていた。)

(17) Ken và Mari đã rất
ケン と マリ ANT とても
bất ngờ vì chú chó
びっくりする ~ので CLF イヌ
đã ăn hết
ANT 食べる ~尽す
đồ ăn đã chuẩn bị trong giỏ.
食べ物 ANT 準備する 中 バスケット
(イヌが準備したバスケットの食べ物を食べ尽くしていたので、ケンとマリはとてもびっくりした。)

このように、出来事が発話時より前に起こり、または既に終結していることを表現する際に、文脈から

見ると、“*đã* + V”、“*đã* + V + *rồi*”という形式が用いられ、対応する日本語として、「タ」形と対応すると誤った認識となり、誤用されているのではないと思われる。

レー (2001) によると、完了アスペクトマーカー *đã* と *rồi* を使用すると、事態の結果についての含意がある。しかし、日本語母語話者と異なり、ベトナム語母語話者は中国語母語話者と同様に出来事の変化時 (庵 2017) を捉える傾向にあると考えられる。そのため、「テイ (ル)」における状態・結果残存という用法に対応表現が母語ないがために、誤用されており、日本語母語話者と異なる使用傾向を示したのかと思われる。

また、「能動態・受動態」の使用に関しては、10名中8名が被害の受動マーカー *bị* と共起する受動態を用いることが判明した。漫画⑤のような場面では、ベトナム語においても受動態が好まれると言えるだろう。

4.3 ベトナム語母語話者日本語上級・超級学習者による語りのアスペクトの使用状況の考察

日本語が上達するにつれて、同様のテンス・アスペクトの誤用の産出が如何に変化するのかを論じるために、ベトナム語母語話者超上級学習者5名に日本語でライティングしてもらった独自のデータに基づいて分析してみよう。

まず、漫画①②における進行相「テイ (ル)」とその複文に使われる接続表現においては、5名全員が進行相「テイ (ル)」を用いて、その上、中級レベルの日本語学習者に多く見られる「～時に」という接続辞が現れずに、その代わりに、日本語母語話者のように、「～間に」「～最中に」「～ところ」が使われると分かった。

(18)地図でピクニックの場所を確認している間に、
犬がバスケットに飛び込みました。

(19)リとケンが地図を見ている最中に犬がバスケットに飛び込んでいました。

また、漫画⑤における「能動態・受動態」の選択についても、5名全員が受動態を用いている。ただし、文末表現における臨時的な状況描写においては、「テイ(ル)」を用いた者は一人もいない。言い換えれば、この「テイ(ル)」の用法は上級・超級学習者においてもなおハードルが高いのである。

(20)せっかく準備したサンドイッチなどの食べ物が
犬に食べられてしまいました。

(21)せっかく準備した食べ物も犬に弄られました。

おそらくベトナム語母語話者には「食べられてしまっていました」のような「テイ(ル)」表現 “đang + V” に相当すると認識している人が多い。これ “đã đang bị ăn mất rồi” (ANT + đang + PASS + 食べる + ~てしまう + PRF) と直訳した場合、不自然になる。それがここで「テイ(ル)」が用いられていない原因であると考えられる。

5. まとめと今後の課題

本論文では、I-JASにおけるSW1タスクのデータに基づく複文における進行相「テイ(ル)」と接続表

現、能動態・受動態と文末表現、ならびに、独自収集データによる母語の影響の可能性、超上級学習者による調査といった四つの視点から考察を行った。結果として、進行相の「テイ(ル)」においては、ベトナム語母語話者による習得が進んでいるが、結果残存・状況描写の「テイ(ル)」においては、超上級学習者でも理解が不十分であるということが明らかになった。さらに、母語の影響が、「テイ(ル)」が少なく、「タ」形が多く用いられているというような現象を引き起こしているのではないかと考えられる。今回は「ピクニック」のみを分析対象としているが、「鍵」という他のトピックを考察した場合、異なる結果が出る可能性がある。また、逆に日本語母語話者のベトナム語学習者を考察対象にする場合、ベトナム語のテンス・アスペクトの使用における誤用を観察するというような双方向研究を行う必要がある。それを今後の課題としたい。

本論文は、国立国語研究所主催2020年6月に「I-JAS」完成記念シンポジウムで行われた口頭発表の内容をもとに、大幅に加筆修正したものである。

【謝辞】

本論文の遂行にあたり、終始適切な助言を賜り、また丁寧な指導して下さった指導教官の望月圭子先生、データ収集や考察の方法など、細部にわたるご指導をいただいた小柳昇先生にここに感謝の意を表します。

注

- 1 JJJ から始まる ID は、日本語母語話者の例文である。VVN から始まる ID はベトナム語母語話者の例文である。

【略語一覧表】

ANT: anterior 完了, CLF: classifier 類別詞, CONJN: conjunction 接続詞, NEG: negation 否定, PASS: passive 受け身, PRF: perfect, PFV: perfective, PL: plural 複数, PROG: progressive 進行, REL: relative 関係詞.

【関連 URL】

多言語母語の日本語学習者横断コーパス (I-JAS) <https://ninjal-sakoda.sakura.ne.jp/lisa>
 コーパス検索アプリケーション『中納言』<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>

【辞書】

Bùi Phụng. (2003). *Từ điển Việt – Anh*. Hà Nội: NXB Thế giới.
 Nguyễn Như Ý. (1999). *Đại từ điển tiếng Việt*. Hà Nội: NXB Văn hoá – Thông tin.

【参考文献】

- 庵功雄 (2017) 「日本語教育文法から見た「ている」と「ていた」」. 中国語話者のための日本語教育研究会主催特別講演会 (2017.7.1).
- 許夏珮 (2005) 『日本語学習者によるアスペクトの習得』 くろしお出版.
- 小山悟 (2004) 「日本語のテンス・アスペクトの習得における普遍性と個別性—母語の役割と影響を中心に—」 小山悟・大友可能子・野原美和子 (編) 『言語と教育：日本語を対象として』, pp. 153-164. くろしお出版.
- 迫田久美子 (2019) 「話すタスクと書くタスクに見る日本語のバリエーション—日本語学習者コーパス I-JAS の分析に基づいて—」 野田尚史・迫田久美子 (編) 『学習者コーパスと日本語教育研究』, pp. 151-168. くろしお出版.
- 高梨 信乃・齊藤 美穂・朴 秀娟・太田 陽子・庵 功雄 (2017) 「上級日本語学習者に見られる文法の問題：修士論文の草稿を例に」『阪大日本語研究』 No. 29, pp. 159-185. 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座.
- 野村純太, ファム・ティ・タイン・タオ (2019) 「ベトナム語のアスペクト」『語学研究所論集』 No. 24, pp. 431-436. 東京外国語大学語学研究所.
- 羽賀千紘 (2011) 「ベトナム語のテンス・アスペクト表現—“đã” と “rồi” の異同について—」『思言：東京外国語大学記述言語学論集』 No. 7, pp. 177-184. 東京外国語大学地域文化研究科・外国語学部記述言語学研究室.
- 峯布由紀 (2015) 『第二言語としての日本語の発達過程—言語と思考の Processability』 ココ出版.
- 峯布由紀 (2019) 「文脈の時間の流れを表すテイ (ル) の習得について—日本語の発達段階における位置づけ—」『日本語教育』 No. 137, pp. 61-68. 公益社団法人日本語教育学会.
- 望月圭子・申亜敏・小柳昇 (2020) 「日本語・英語・中国語双方向学習者コーパスにみられるテンス・アスペクトの習得」『日本語・日本学研究』 No. 10, pp. 137-152. 国際日本研究センター.
- 山口薫 (2013) 「外国人留学生の作文に現れるテンス・アスペクト形式の分析」『南山大学国際教育センター紀要』 No. 14, pp. 25-39, 2013. 南山大学国際教育センター.
- 陳健瑋 (2014) 「日本語のアスペクト形式「テイル形」の習得に関する横断研究—動詞の語彙的なアスペクトによる影響について—」『言葉と文化』 15 号, pp. 31-47. 名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻.
- レー・バン・クー (2001) 「ベトナム語の「完了形」 đã...(rồi)」つくば言語文化フォーラム (編) 『「た」の言語学』, pp. 251-296. ひつじ書房.

Cao Xuân Hạo. (1998). “Về ý nghĩa thì và thể trong tiếng Việt”. *Ngôn ngữ* (5), tr.1-31.

Đinh Văn Đức. (2012). *Ngôn ngữ học đại cương – Những nội dung quan yếu*. Hà Nội: Nxb Giáo dục Việt Nam.

- Nguyễn Đức Dân. (1996). “Biểu hiện và nhận diện thời gian trong tiếng Việt”. *Ngôn ngữ* (3), tr.5-13.
- Nguyễn Kim Thán. (1977). *Động từ trong tiếng Việt*. Hà Nội: Nxb Khoa học Xã hội.
- Nguyễn Minh Thuyết. (1995). “Các tiền phó từ chỉ thời, thể trong tiếng Việt”. *Ngôn ngữ* (2), tr.1-10.
- Panfilov, V.X. (1993). *Cơ cấu ngữ pháp tiếng Việt*. Đại học Quốc gia Xanh Peterburg (Thủy Minh dịch).
- Phan, Trang. (2013). *Syntax of Vietnamese Aspect*. PhD. University of Sheffield.
- Pienemann, M. (1998). *Language processing and second language development: Processability Theory*. Amsterdam: John Benjamins.
- Shirai, Y. (1995). Tense-aspect marking by L2 learners of Japanese. In D. MacLaughlin & S. McEwen (Eds.), *Proceedings of the 19th Annual Boston University Conference on Language Development*, Vol. 2, pp.575-586. Somerville, MA: Cascadia Press.
- Shirai, Y. & Kuroono, A. (1998) The acquisition of tense-aspect marking in Japanese as a second language. *Language learning*, Vol.48, pp.245-279. Language Learning Research Club, University of Michigan.
- Smith, Carlota. (1997). *The Parameter of Aspect*. Dordrecht: Kluwer Academic Publishers.
- Travis, Lisa. (2010). *Inner Aspect: The Articulation of VP*. Dordrecht: Springer.
- Trần Kim Phượng. (2008). *Ngữ pháp tiếng Việt, những vấn đề về thời, thể*. Hà Nội: Nxb Giáo dục.

【付録】 独自収集データ

[A] ベトナム語でストーリーライティングした作文

A1- Buổi sáng, Ken và Mary làm bánh sandwich. Hôm nay, họ định đi Hakone để ngắm lá vàng. Ngoài bánh sandwich, họ còn mua táo để tráng miệng sau khi ăn. Họ chuẩn bị rất cẩn thận, cho đồ ăn, nước uống vào một cái giỏ và sẵn sàng cho chuyến picnic. Họ có một chú chó rất đáng yêu nhưng tinh nghịch. Khi họ đang xem bản đồ để tìm đường đi Hakone thì nó trốn vào trong cái giỏ đựng đồ ăn. Họ không hề hay biết và vì háo hức cho chuyến đi picnic quá nên họ cũng quên mất chú chó của mình. Khi họ đến Hakone thì cũng trưa rồi. Phong cảnh xung quanh rất đẹp, thời tiết cũng rất tốt. Họ rất vui vẻ. Họ định bỏ đồ ăn ra để ăn trưa và ngắm cảnh thì bất chợt chú chó từ trong giỏ nhảy ra. Họ vô cùng sửng sốt. Họ nhìn vào trong giỏ thì thấy tất cả đồ ăn đã bị chú chó ăn mất rồi. Trong giỏ chỉ còn lại mấy miếng sandwich và quả táo đã bị ăn dở. Họ rất buồn còn chú chó thì chạy mất.

A2- Buổi sáng, Mary và Ken đang làm bánh sandwich để chuẩn bị cho buổi dã ngoại buổi chiều của mình. Bên ngoài chú chó đã thấy họ bỏ hết tất cả thức ăn vào trong giỏ. Trong khi Ken và Mary đang nghiên cứu đường đi trong bản đồ thì chú chó đã nhanh trí nhảy núp vào trong giỏ thức ăn mà họ đã chuẩn bị. Ken và Mary vẫn chưa biết chuyện gì xảy ra, họ vừa đi vừa trò chuyện vui vẻ trên đường đến khu dã ngoại. Đến nơi, khi mở giỏ thức ăn ra thì bất ngờ chú chó ở trong giỏ nhảy ra. Mọi người hoảng hốt nhìn lại thì thấy tất cả đồ ăn đã bị chú chó cắn hết, chỉ còn lại toàn thức ăn thừa, mọi người cảm thấy buồn vì chuyến dã ngoại đã không như mong đợi.

[B] 日本語でストーリーライティングした作文

B1- ケンとマリは犬の1匹を飼っています。今日のピクニックを準備する為に、朝から彼らは一緒にサンドイッチなどを作って、バスケットに入れました。地図でピクニックの場所を確認している間に、犬がバスケットに飛び込みました。その後、彼らは服を着替えて、準備したバスケットを知らないまま持っていきました。ピクニックの所に着いてから、バスケットを開いたとたん、犬が飛び出しました。せっかく準備した食べ物も犬に弄られました。彼らは本当にがっかりしました。

B2- 先週の土曜日にマリさんとケンさんがピクニックへ行くことにしたので、朝、二人が一緒にサンドイッチなどを作りました。二人は楽しそうながら食べ物を準備し、話しました。久しぶりのピクニックなので、楽しみそうです。話している間に犬がそっと部屋へ入りましたが、話に集中すぎたので、二人が全然気が付かなかったです。食べ物の準備が完了し、バスケットに全部入れた後、マリさんは地図でケンさんと行き方を確認しました。すると、二人が知らないうちに犬がテーブルに置いているバスケットに入り込みました。道などしっかり確認できた後、バスケットを持って、ピクニック会場へ出発しました。やっとピクニック会場に着いたので、二人は手を繋いで笑顔でありながら、座れるところへ向かいました。いい場所を見つけてから、バスケットから準備した食べ物を取ろうとして、バスケットの蓋をあけたとたん、犬が突然に飛び出しました。二人は驚きながらバスケットの中を確認したところ、せっかく準備したサンドイッチなどの食べ物が犬に食べられてしまいました。せっかく準備したのに、完全に台無しになってしまいました。